



COVID-19の感染拡大早期における、日本の予定手術件数を前年度比で算出した。8診療科区分のうち、いずれも4月から減少し5月で最低値となり、特に眼科(全年度比52.1%)と耳鼻咽喉科(28.1%)で減少率が大きかった。今後の感染拡大も考慮しつつ、積み残し手術をいかに処理していくかが肝要である。